



2012年度第2四半期決算説明会

2012年11月8日

東武鉄道株式会社

目次

- ・Ⅰ.2012年度 第2四半期実績 P02

- ・Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進 P17

- ・Ⅲ. 2012年度 通期見通し P34

I. 2012年度 第2四半期実績

12年度 第2四半期トピックス

12年5月 東京スカイツリータウン開業

◆運輸事業

- ・12年04月【鉄 道】とうきょうスカイツリー駅リニューアルオープン
- ・12年07月【鉄 道】電力貯蔵装置を導入
- ・12年10月【鉄 道】スカイツリートレイン(展望車両634型)デビュー

◆レジャー事業

- ・12年05月【ホテル】Sky Restaurant^{musashi}634オープン
- ・12年05月【ホテル】東武ホテルレバント東京 客室など リニューアルオープン

◆不動産事業

- ・12年11月【賃 貸】浅草駅ビル「EKIMISE」オープン

◆流通事業

- ・12年09月【百貨店】東武百貨店池袋店、リニューアルオープン

◆その他事業

- ・12年10月【その他】大規模太陽光発電事業に参入することを発表

I. 2012年度 第2四半期実績

連結子会社及び持分法適用会社の異動状況

2012年9月末現在

項目 セグメント	連結子会社	持分法適用会社	計	2012年3月	増減
運輸	33	2	35	36	1社減
レジャー	17	3	20	19	1社増
不動産	4	0	4	4	
流通	15	3	18	18	
その他	18	0	18	18	
計	87	8	95	95	増減なし

増加内訳

レジャーセグメント

ラフェスタ(株)(12年6月会社分割による増加)

減少内訳

運輸セグメント

(株)群馬ロジテム(12年5月合併)

I. 2012年度 第2四半期実績

1 収益力(連結)

(単位:億円)

	11年度 第2四半期	12年度第2四半期		参 考	
	(実績)	(実績)	(前年対比)	(計 画)	(計画対比)
営業収益	2,635	2,819	184	2,748	71
営業費用	2,498	2,582	84	2,599	▲17
営業利益	137	237	100	149	88
経常利益	123	208	85	102	106
四半期純利益	66	116	50	48	68

※計画値は12年5月11日発表のものを使用している。(P4~P16)

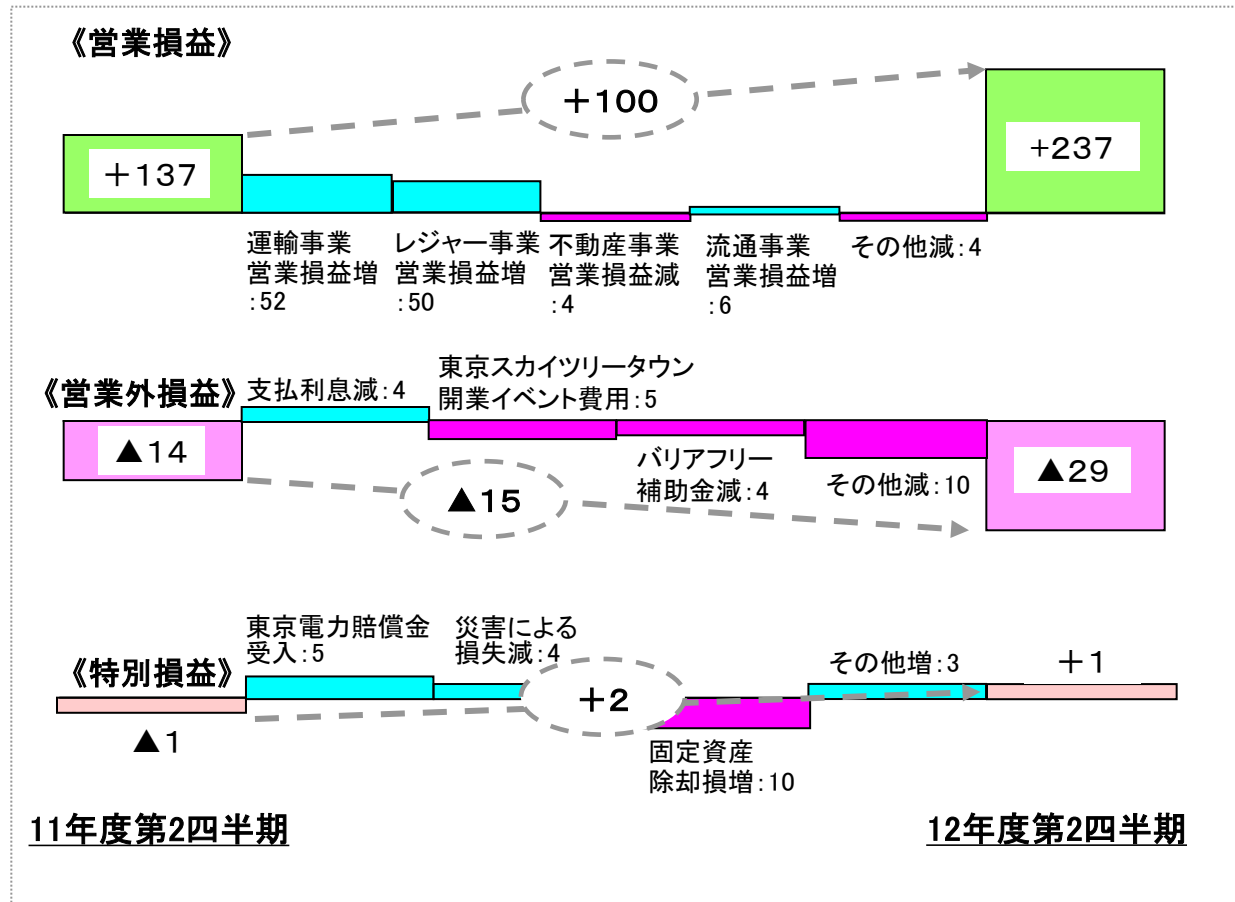
I. 2012年度 第2四半期実績

2 最終損益の増加要因 (11年度第2四半期 ⇒ 12年度第2四半期)

(単位: 億円)

12年度
四半期純利益116億
(前年同期比: +50)

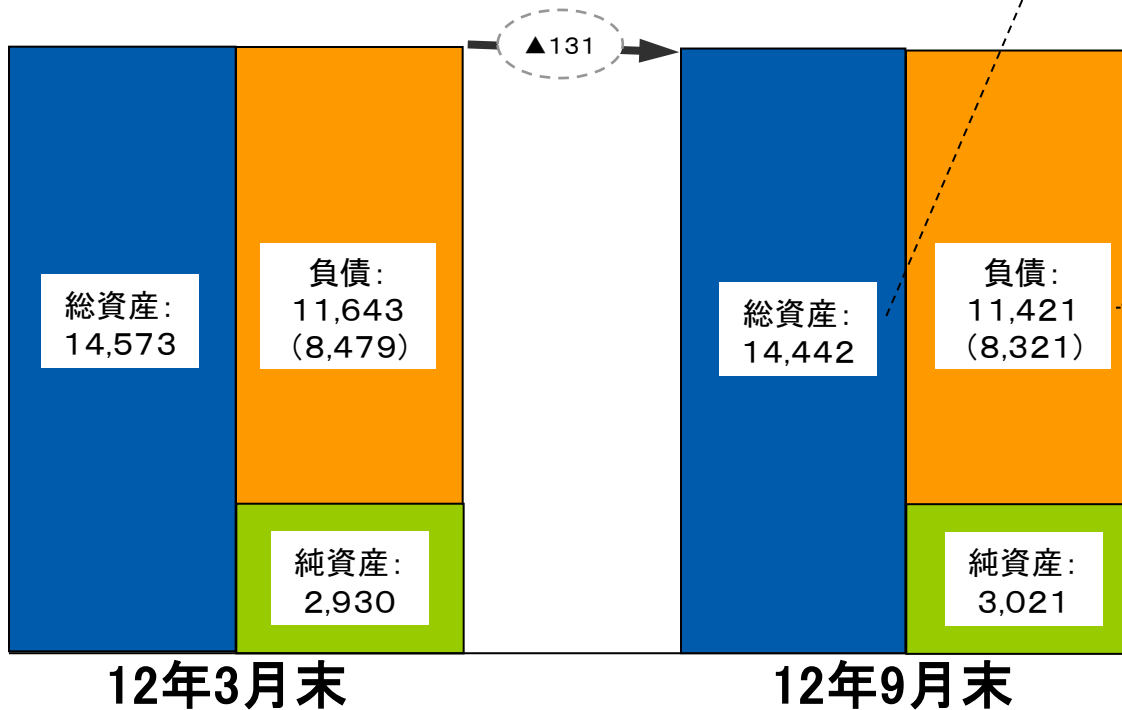
営業損益	:	+100
営業外損益	:	▲15
特別損益	:	+2
税金等調整前 四半期純利益	:	+87
四半期純利益	:	+50



I. 2012年度 第2四半期実績

3 総資産の動き (12年3月末→12年9月末)

(単位:億円)



総資産(12/3末比)	: ▲131
有形固定資産	: ▲89
分譲土地建物	: ▲17
その他	: ▲25

負債(12/3末比)	: ▲222
有利子負債	: ▲158
<small>(借入金、社債、鉄道運輸機構未払金)</small>	
その他	: ▲64

純資産(12/3末比)	: 91
利益剰余金	: 88
その他	: 3

※ カッコ内
負債:有利子負債残高

I. 2012年度 第2四半期実績

4 キャッシュフロー(連結)

(単位:億円)

	11年度 第2四半期	12年度第2四半期		11年度 通期実績
	(実績)	(実績)	(前年対比)	
EBITDA	391	496	105	840
(営業利益)	(137)	(237)	(100)	(326)
(減価償却費)	(254)	(259)	(5)	(514)
有利子負債残高	8,410	8,321	▲89	8,479
設備投資 <small>(資本的支出)</small>	318	219	▲99	1,012

参 考

設備投資のうち、業平橋押上地区開発プロジェクト投資額

11年度第2四半期実績 約177億円 12年度第2四半期実績 約18億円 11年度 約588億円

I. 2012年度 第2四半期実績

5 セグメント別営業利益(連結)

(単位:億円)

	11年度 第2四半期 (実績)	12年度第2四半期		参 考	
		(実績)	(前年対比)	(計画)	(計画対比)
運 輸	107	159	52	132	27
レジャー	▲13	37	50	▲5	42
不動産	33	29	▲4	19	10
流 通	▲5	1	6	▲2	3
その他	14	13	▲1	10	3

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

I. 2012年度 第2四半期実績

《運輸事業》

(単位: 億円)

	11年度 第2四半期 実績	12年度 第2四半期 実績	増 減	
			(前年対比)	(計画対比)
営業収益	1,006	1,052	46	2
鉄道	760	798	38	5
その他	246	254	8	▲3
営業費用	899	893	▲6	▲25
鉄道	662	657	▲5	▲18
その他	237	236	▲1	▲7
営業利益	107	159	52	27
鉄道	98	141	43	23
その他	9	18	9	4

主な増減要因

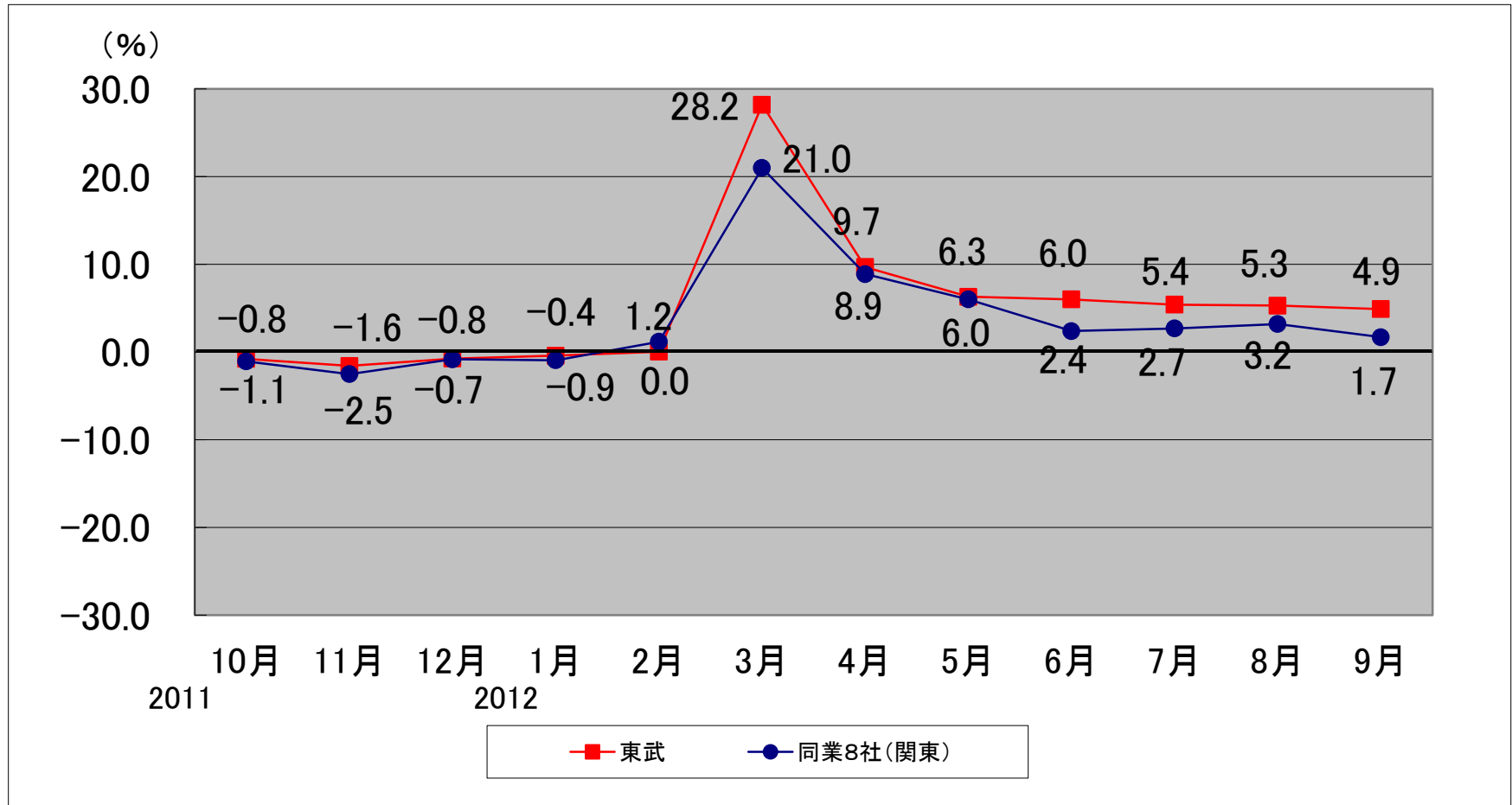
東武鉄道 鉄道業の乗車人員・旅客収入 (単位: 百万人、億円、%)

		A	B	C	B-A		C-B		C-A	
		11年度 2Q実績	12年度 2Q計画	12年度 2Q実績	122Q計画-112Q実績 差額	%	122Q実績-122Q計画 差額	%	122Q実績-112Q実績 差額	%
乗車 人員	定期外	145	152	154	7	4.6	2	1.6	9	6.2
	定期	287	288	292	1	0.5	4	1.2	5	1.8
	計	432	440	446	8	1.9	6	1.4	14	3.3
旅客 収入	定期外	357	383	385	26	7.4	2	0.6	28	8.1
	定期	322	325	328	3	0.8	3	0.8	6	1.6
	計	679	708	713	29	4.2	5	0.7	34	5.0

注 東武鉄道 鉄道業 物件費 ▲10
動力費 ▲5

I. 2012年度 第2四半期実績

輸送人員(定期外)増減率の推移 他社比較(対前年)



I. 2012年度 第2四半期実績

《レジャー事業》

(単位:億円)

	11年度	12年度	増 減	
	(第2四半期実績)	(第2四半期実績)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	275	362	87	24
ホテル	62	82	20	5
その他	213	280	67	19
営業費用	288	325	37	▲18
ホテル	67	80	13	3
その他	221	245	24	▲21
営業利益	▲13	37	50	42
ホテル	▲5	2	7	2
その他	▲8	35	43	40

主な増減要因

主なホテルの状況(実績)

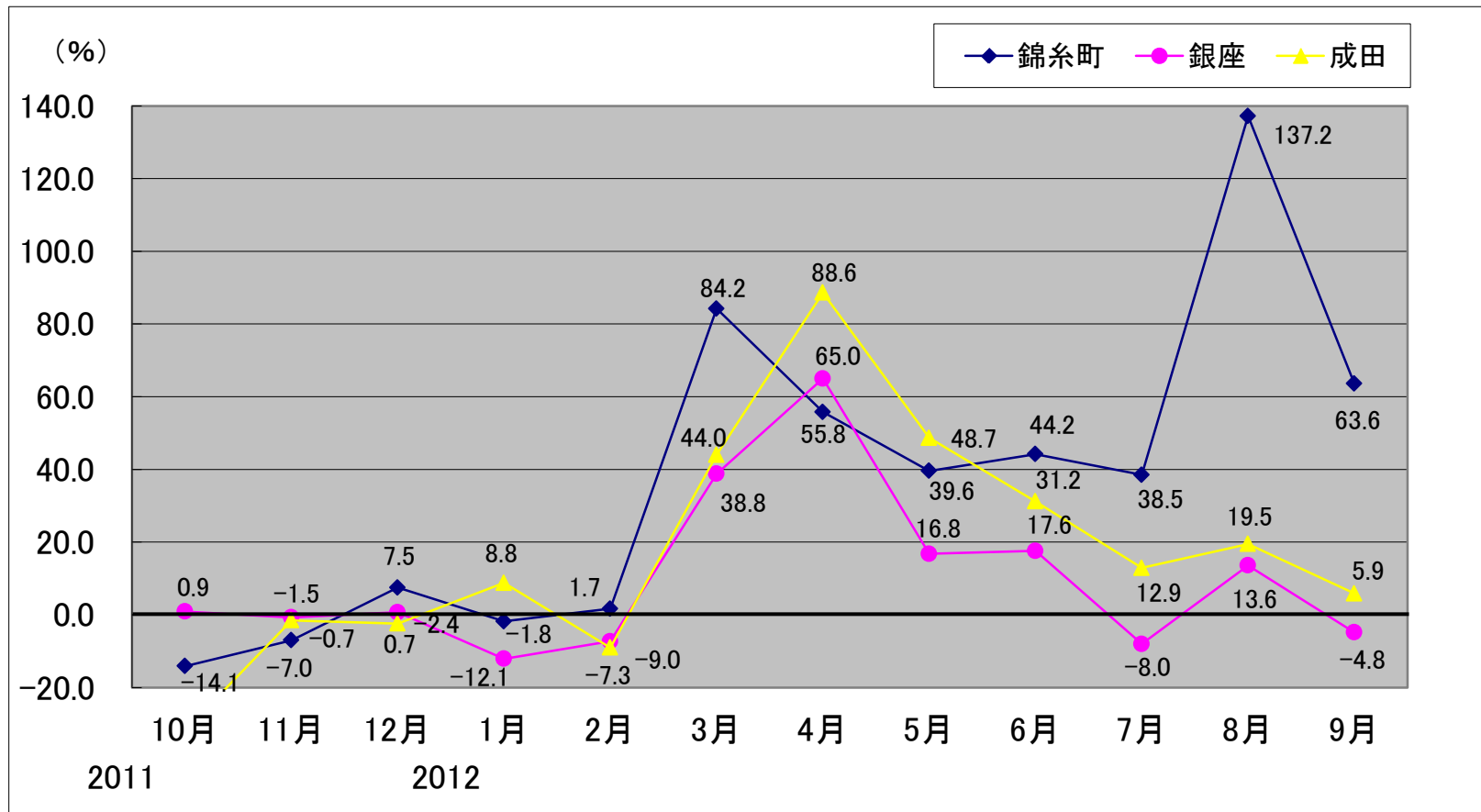
	客室稼働率(%)			婚礼組数(組)		
	11年度2Q	12年度2Q	差引	11年度2Q	12年度2Q	差引
錦糸町	76.4	86.5	10.1	120	152	32
銀座	80.5	91.8	11.3	95	68	▲27
成田	57.5	77.8	20.3	2	0	▲2

その他のうち、スカイツリー業

	11年第2四半期	12年第2四半期
営業収益	1	82
営業費用	5	45
営業損益	▲4	37

I. 2012年度 第2四半期実績

主なホテルの売上高の推移(対前年比較)



I. 2012年度 第2四半期実績

《不動産事業》

(単位:億円)

	11年度 (第2四半期実績)	12年度 (第2四半期実績)	増 減	
			(前年対比)	(計画対比)
営業収益	282	283	1	8
賃 貸	161	220	59	2
分 譲	121	63	▲58	6
営業費用	249	254	5	▲2
賃 貸	136	182	46	▲12
分 譲	113	72	▲41	10
営業利益	33	29	▲4	10
賃 貸	25	38	13	14
分 譲	8	▲9	▲17	▲4

主な増減要因

分譲販売戸数	単位:戸			
	販売戸数		持分換算後販売戸数	
	戸建住宅	マンション	戸建住宅	マンション
12年度2Q実績	6	370	6	189
11年度2Q実績	7	570	7	262
増 減	▲1	▲200	▲1	▲73

賃貸業のうち、スカイツリータウン業

	11年第2四半期	12年第2四半期
営業収益	1	57
営業費用	4	50
営業損益	▲3	7

I. 2012年度 第2四半期実績

《流通事業》

(単位:億円)

	11年度 (第2四半期実績)	12年度 (第2四半期実績)	増 減	
			(前年対比)	(計画対比)
営業収益	958	994	36	▲12
百貨店	862	889	注1 27	注2 ▲13
その他	96	105	9	1
営業費用	963	993	30	▲15
百貨店	871	893	22	▲14
その他	92	100	8	▲1
営業利益	▲5	1	6	3
百貨店	▲9	▲4	5	1
その他	4	5	1	2

主な増減要因

注1

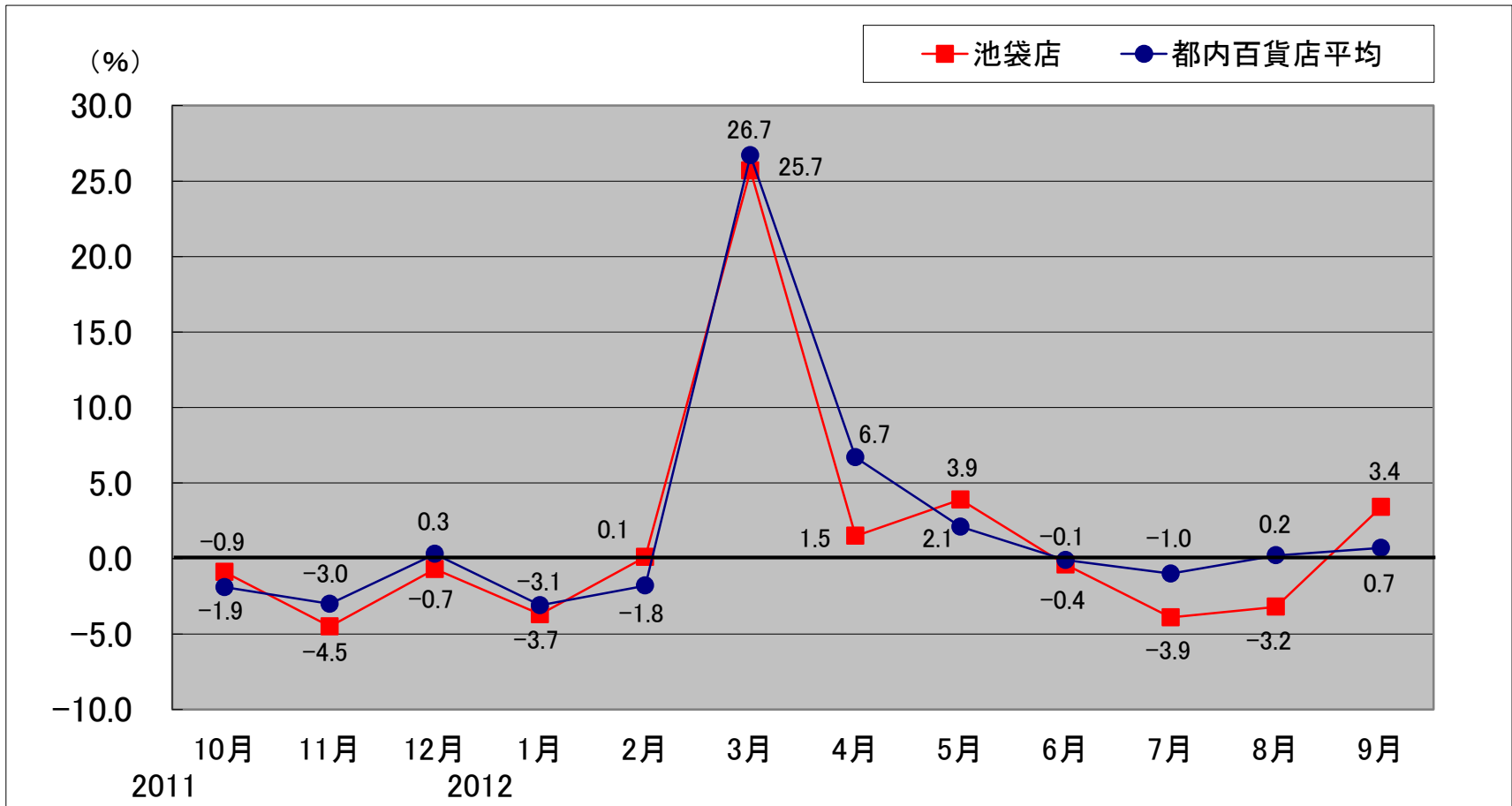
池袋店 + 19
船橋店 ▲1
宇都宮店 + 7
大田原店 + 2

注2

池袋店 ▲3
船橋店 ▲10

I. 2012年度 第2四半期実績

売上高の対前年比較(池袋店対都内百貨店平均)



I. 2012年度 第2四半期実績

《その他事業》

(単位:億円)

	11年度 (第2四半期実績)	12年度 (第2四半期実績)	増 減		主な増減要因
			(前年対比)	(計画対比)	
営業収益	348	389	41	33	
営業費用	334	376	42	30	
営業利益	14	13	▲1	3	

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

東京スカイツリータウン 5月22日開業

- 東京スカイツリーおよび
東京スカイツリータウンの入場者数
「計画を大幅に超える来場者を記録」

5月22日から9月30日現在(開業132日間)

東京スカイツリー 224万人

東京スカイツリータウン 2,095万人

隅田川花火大会
当日の様子



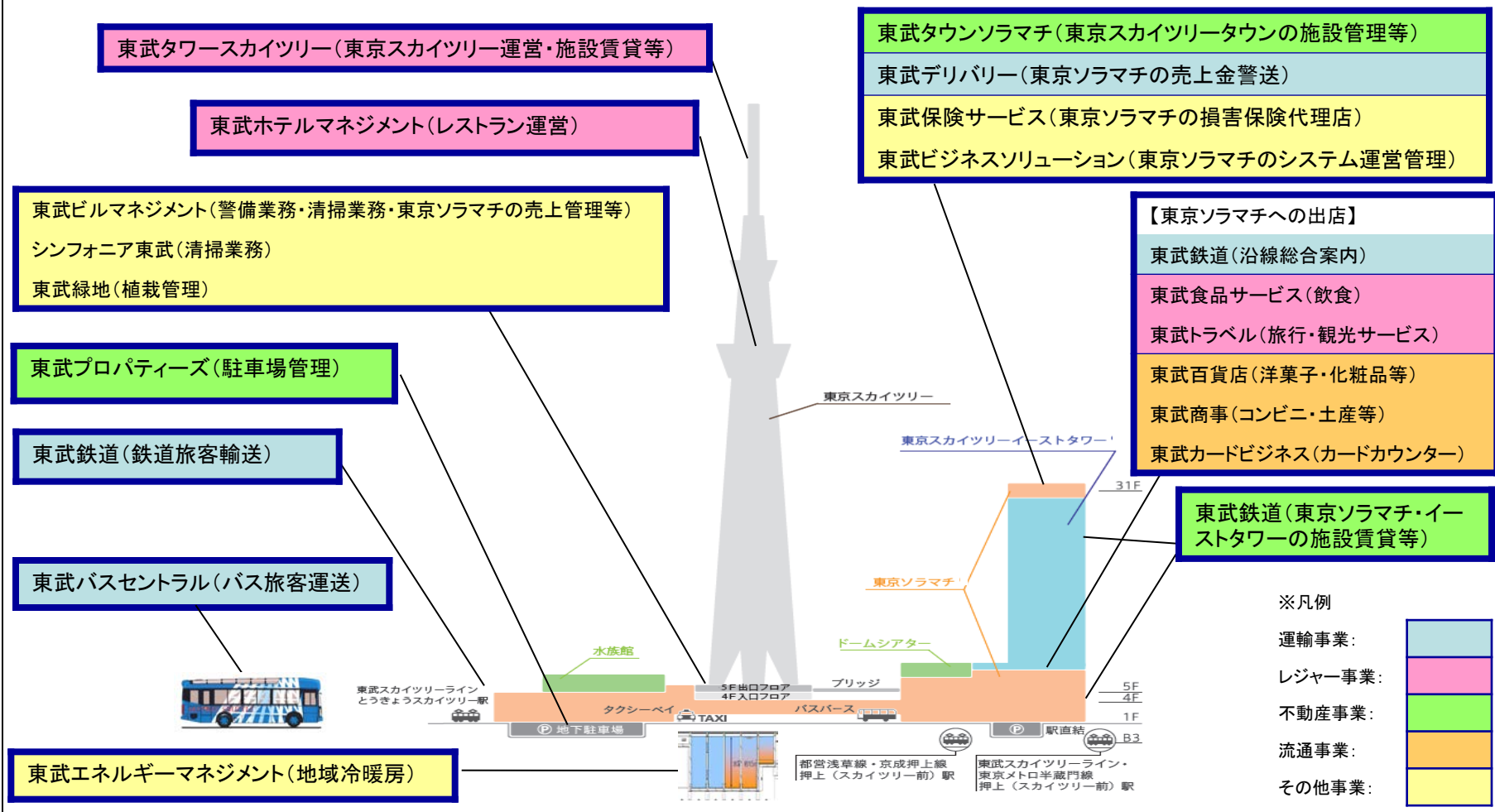
開業の様子

当日券販売開始日の様子



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

東京スカイツリータウンにおける東武グループの展開



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

東京スカイツリータウン売上状況

◆東京スカイツリーオフィシャルショップ売れ筋ランキング

- 1位 ロングロール
- 2位 開業記念
アソートクッキー
- 3位 東京スカイツリー
オリジナルカップセル
フィギア

(開業から12年10月15日
までの売上順位)



「ロングロール」

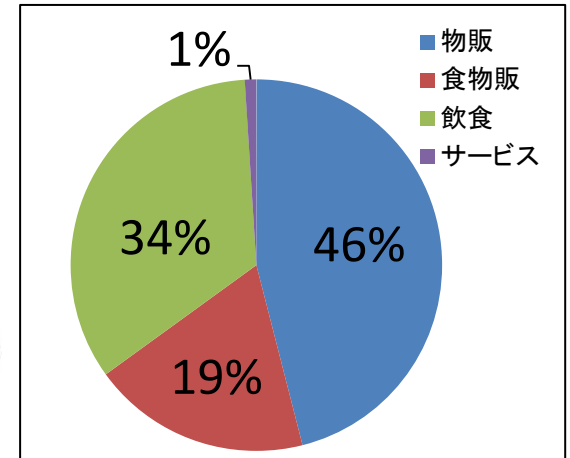


「開業記念
アソートクッキー」



「東京スカイツリー
オリジナルカ
ップセル
フィギア」

東京ソラマチ(商業部分)売上構成

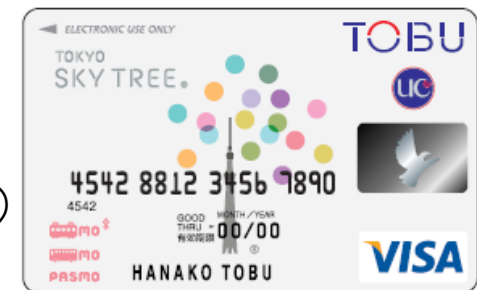


東京スカイツリー東武カードPASMOの発行

◆東武グループポイントサービスの実施

参加会社 東武グループ25社およびグループ外4社の計29社
東京スカイツリータウン(東京スカイツリー、東京ソラマチ)

◆発行枚数9月30日現在 約80万枚 (東武カード含む)



「東京スカイツリー東武カードPASMO」

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

東京スカイツリープロジェクトの収支計画

(単位:億円)

		12年度			13年度			14年度		
		前回	今回	差額	前回	今回	差額	前回	今回	差額
東京スカイツリー	営業収益	106	182	+76	123	200	+77	116	182	+66
	営業費用	101	109	+8	94	104	+10	89	99	+10
	(うち減価償却費)	(27)	(25)	(▲2)	(26)	(24)	(▲2)	(23)	(22)	(▲1)
	営業利益 (営業キャッシュフロー)	5 (32)	73 (98)	+68 (+66)	29 (55)	96 (120)	+67 (+65)	27 (50)	83 (105)	+56 (+55)
スカイツリータウン	営業収益	95	116	+21	108	116	+8	112	118	+6
	営業費用	92	108	+16	95	101	+6	96	102	+6
	(うち減価償却費)	(26)	(27)	(+1)	(28)	(30)	(+2)	(28)	(30)	(+2)
	営業利益 (営業キャッシュフロー)	3 (29)	8 (35)	+5 (+6)	13 (41)	15 (45)	+2 (+4)	16 (44)	16 (46)	0 (+2)
合計	営業収益	201	298	+97	231	316	+85	228	300	+72
	営業費用	193	217	+24	189	205	+16	185	201	+16
	(うち減価償却費)	(53)	(52)	(▲1)	(54)	(54)	(0)	(51)	(52)	(+1)
	営業利益 (営業キャッシュフロー)	8 (61)	81 (133)	+73 (+72)	42 (96)	111 (165)	+69 (+69)	43 (94)	99 (151)	+56 (+57)
東京スカイツリー入場者数		400万人	545万人	+145万人	460万人	644万人	+184万人	430万人	580万人	+150万人

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

東京スカイツリータウンにおける東武グループ各社の収益および利益貢献

(12年度)

(単位:億円)

セグメント	営業収益			営業利益			主な内容
	前回	今回	差額	前回	今回	差額	
運輸事業	15	22	+7	14	20	+6	鉄道旅客輸送・バス旅客運送等
レジャー事業	24	28	+4	6	7	+1	飲食・観光サービス等
不動産事業	0	0	0	0	0	0	駐車場等
流通事業	23	27	+4	1	2	+1	百貨店・土産等・コンビニ等
その他事業	20	24	+4	3	3	0	タウンの警備・清掃・植栽管理等
計	82	101	+19	24	32	+8	

東京スカイツリー	106	182	+76	5	73	+68	
スカイツリータウン	95	116	+21	3	8	+5	
合計	283	399	+116	32	113	+81	

※セグメント消去前の数値を使用している。

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

1 運輸事業

鉄道業

- 交流人口創出・拡大策の展開
- ◆ 駅リニューアルを実施

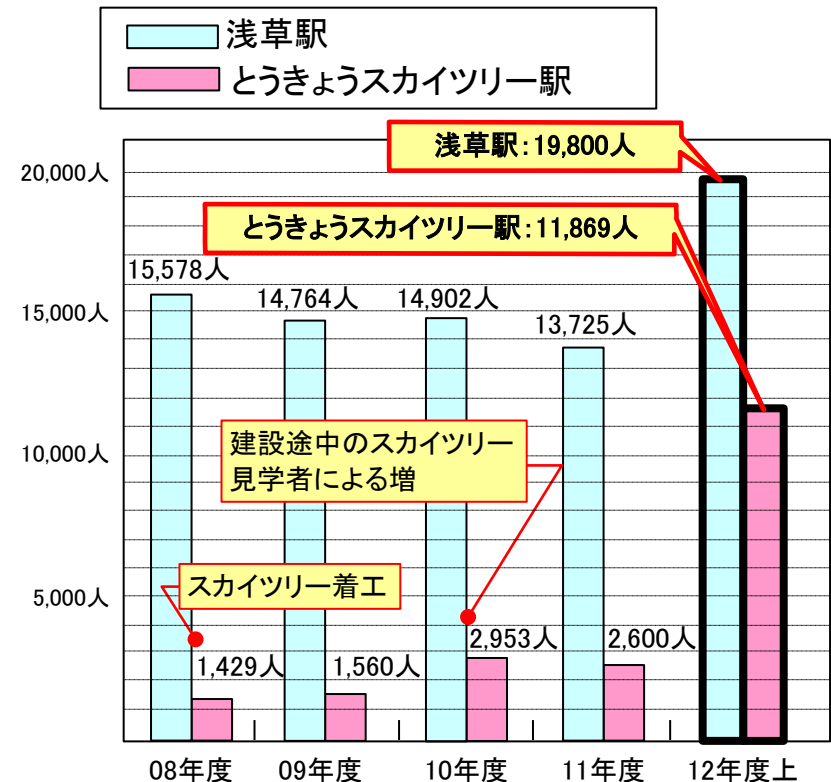


とうきょうスカイツリー駅



浅草駅

■ 浅草駅・とうきょうスカイツリー駅の
1日平均定期外乗車人員の推移



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

◆東武スカイツリーライン・伊勢崎線・日光線でダイヤ改正(12年3月17日)

◆スカイツリートレイン(634型)デビュー(12年10月27日)

業平橋駅を「とうきょうスカイツリー駅」へ改称し、特急列車の一部停車を実施

「東武沿線からスカイツリーへ」、「スカイツリーから日光・鬼怒川へ」をコンセプトに6050型車両をリニューアル

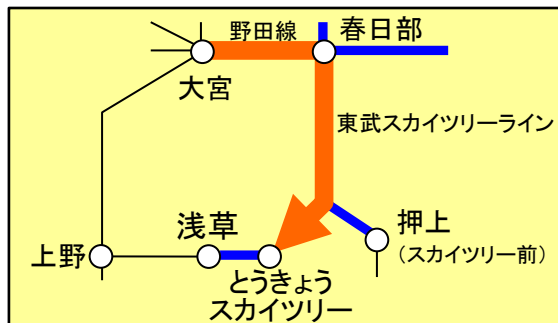


◆とうきょうスカイツリー～浅草間の上り特急列車の料金無料化(12年10月27日～13年5月22日)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

◆大宮～とうきょうスカイツリー間の直通臨時列車を運転

「さいたまエリアのお客様に
東京スカイツリータウン等へのお出かけに
便利な列車の旅を提供」
(9月29日より11月までの土休日に1往復運転)



「直通臨時列車の
運行ルート」



「8000系
リバイバルカラー車両」

◆野田線に新型車両を2編成12両新造(13年度運行開始予定)

代替する8000系車両に比べ、バリアフリー・省エネルギー化・省メンテナンス化・車内照明のLED化により使用電力が約40%削減となるほか、車内案内用液晶ディスプレイを設置するなど、人と環境にやさしい車両を導入

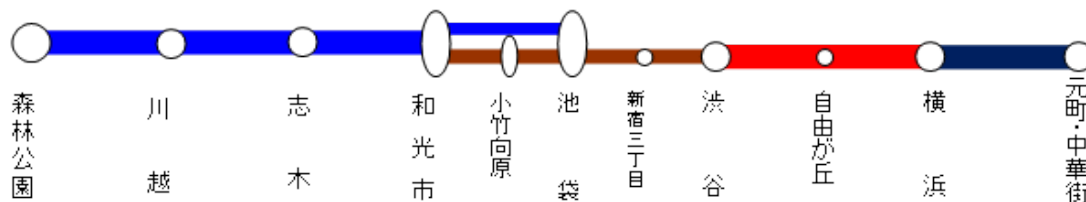


「野田線新型車両」(イメージ)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

◆東上線と、東急東横線・みなとみらい線との相互直通運転開始(13年3月16日)

「首都圏西南部との新たなネットワークの構築、シームレス化による利便性の向上」



5社共同相互直通運転PR用ロゴマーク



●安全・安定輸送の確保

◆連続立体交差化事業の推進

- ・東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅付近高架化工事
 …… 2020年度完成予定
- ・伊勢崎線 伊勢崎駅付近高架化工事
 …… 2014年度完成予定
- ・野田線 清水公園～梅郷間高架化工事
 …… 2017年度完成予定



「清水公園～梅郷間高架化工事
愛宕駅付近高架化完了後イメージ」

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

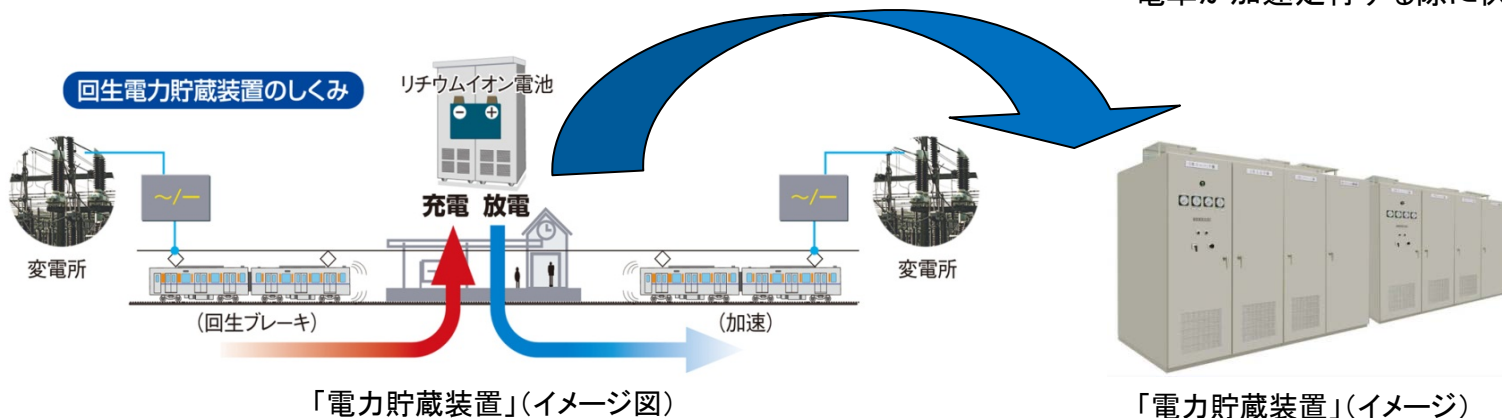
●効率化の推進

◆電力貯蔵装置の導入(東上線上福岡き電区分所)

「電車の使用する電力量の削減による省エネルギーの実現と架線の電圧を安定させるため、
鉄道の安全運行を支える最先端技術を導入」

・設備容量1,800kwは鉄道事業者として国内最大級

※電力貯蔵装置とは…
電車がブレーキを使用した際に発生する
回生電力を吸収・貯蔵し、その電力を
電車が加速走行する際に供給する装置



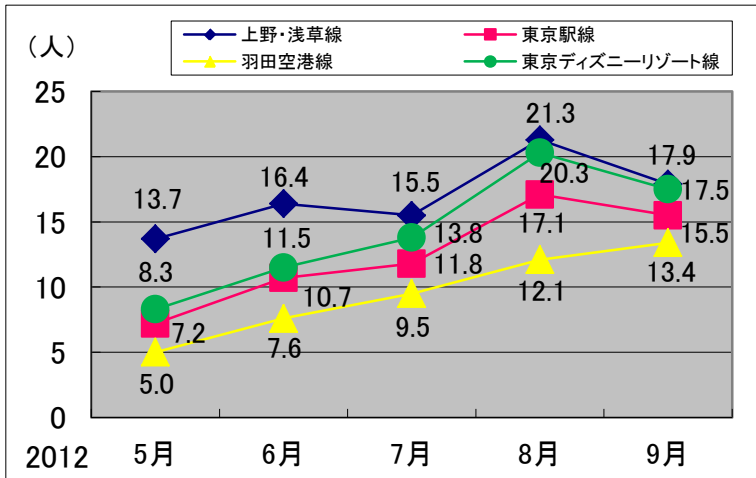
Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

バス・タクシー業

「スカイツリーシャトル」の運行状況

・各路線ともペイラインを確保

スカイツリーシャトル 1便当たり乗車人員の推移



※上野・浅草線以外は、共同運行会社分を含む



東上線沿線とスカイツリータウンを結ぶ路線新設計画

「東京スカイツリータウン～和光市駅～朝霞台駅～志木駅～新座車庫」(許可申請中)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

2 レジャー事業

◆東武動物公園の増収施策

ハートフルファームエリア開発第2弾

「新観覧車」(仮称)
 「屋内キッズ遊具施設」(仮称)
 を13年春オープン(予定)。



ハートフルファーム全景(計画)



新観覧車(計画)



屋内キッズ遊具施設(計画)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

◆ホテル業の増収施策

東武ホテルレバント東京(錦糸町)リニューアル

宿泊



・ソラカラちゃん
ルームの新設
(12年5月竣工)

・第一展望台入場
券引換券付宿泊
プランの販売等

宴会・婚礼



・6階の東京スカイツリー
側屋上を「ハッピーシェア
ガーデン」の名称で東京
スカイツリーを借景に挙式
もできる庭園にリニューアル
(12年5月竣工)
今夏にビアガーデンを実施

◆トラベル業の増収施策

オフィシャルトラベルエージェンシーの状況

・送客人員24万人を突破(12年9月末現在)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

3 不動産事業

◆賃貸業の強化

商業施設「EKIMISE(エキミセ)」

12年11月21日グランドオープン

当駅ビルが誕生した約80年前のモダンな姿を再現
コンセプト『浅草プラットフォーム(人が行き交う場所)』

- ・浅草駅ビル4～7階の内装を一新し、ファッションや生活雑貨・レストランなど52店舗が新たにオープン
- ・屋上に東京スカイツリーを一望できる展望デッキを設置

保育施設などの生活支援事業の展開

東上線 ときわ台南口駅ビル内や大師線 大師前駅ビル内に
駅直結の保育施設を誘致し、4月2日開園

このほか沿線での生活支援事業を検討中



「EKIMISE」外観(イメージ)



「ときわ台駅ビル保育施設」

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

◆マンション事業の推進

東武新マンションブランド「ソライエ」を策定

新規で展開する分譲マンションにおいて新ブランド「ソライエ」を策定、当社物件のイメージ統一を図る

12年度第2四半期 販売・契約実績

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ブリリア有明スカイタワー
契約戸数99戸 引渡戸数83戸 ・フォレストレジデンス(上福岡)
契約戸数76戸 引渡戸数59戸 ・ステーションテラス若葉
引渡戸数174戸 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソライエ谷塚
契約戸数56戸 引渡戸数54戸 ・ソライエ草加松原
契約戸数137戸 |
|--|---|

計画中の物件

- ・墨田区立花五丁目計画 全336戸 来春販売開始予定

家のように、ここもいい家。ソライエ。
Solaie



「ソライエ草加松原(イメージ)」



「墨田区立花五丁目計画(イメージ)」

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

4 流通事業

◆百貨店の状況

池袋店 リニューアル

グランドオープン(婦人雑貨など) 9月6日

改装のポイント

- 様々なアイテムをミックスした「ライフスタイル提案型フロア」を新設
地下1階には食品と生活雑貨専門店、1階はファッション雑貨とセレクトショップを新設。
- 都内最大級の化粧品売場など「百貨店本来の品揃えとサービス」強化
化粧品売場を1階から2階へ移設し、1階にセルフ形式のコスメコーナーや百貨店業界初の空間音響デザインを採用したお手入れ専用ラウンジを新設。



「1階 セルフ型コスメショップ」イメージ

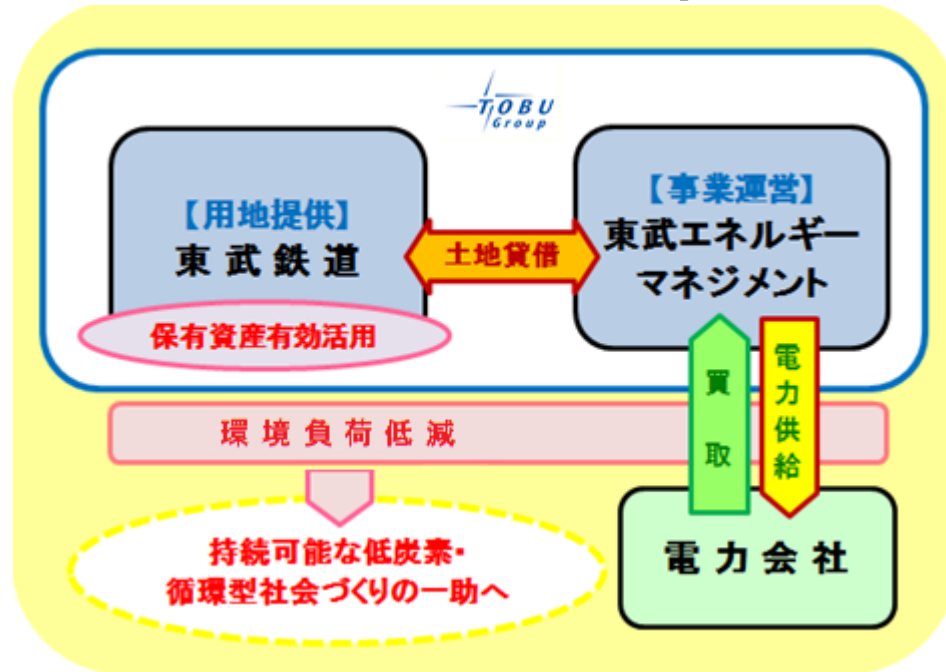
お客様の満足度を高めるとともに、若い世代の新規顧客獲得を目指す

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

5 その他事業

大規模太陽光(メガソーラー)発電事業に参入

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用
 栃木県佐野市(東武佐野線葛生駅)の鉄道貨物ヤード跡地に設備を設置



- ・事業用地 葛生駅南側土地(約14,000㎡)
- ・最大出力 約1,000 kw (1メガワット)
- ・発電電力量 約110万 kwh/年
(一般家庭 約300世帯分)
- ・発電開始 13年夏予定

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

1 期間損益(連結)

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計画)	(見込)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	5,434	5,710	5,805	371	95
営業利益	326	375	470	144	95
経常利益	278	305	410	132	105
当期純利益	160	180	250	90	70
利益剰余金	679	805	870	191	65
営業利益ROA ※	2.3%	2.6%	3.2%	0.9P	0.6P
ROE ※	6.0%	6.3%	8.7%	2.7P	2.4P

※営業利益ROA=連結営業利益÷[(期首総資産+期末総資産)÷2]

※ROE=連結当期利益÷[(期首自己資本+期末自己資本)÷2]

※計画値は12年5月11日発表のものを使用している。(P34~P42)

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

2 キャッシュフロー計画(連結)

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計画)	(見込)	(前年対比)	(計画対比)
EBITDA	840	917	1,008	168	91
(営業利益)	(326)	(375)	(470)	(144)	(95)
(減価償却費)	(514)	(542)	(538)	(24)	(▲4)
有利子負債残高	8,479	8,484	8,250	▲229	▲234
D/Eレシオ	3.1(倍)	3.0(倍)	2.8(倍)	▲0.3P	▲0.2P
設備投資(資本的支出)	1,012	760	676	▲336	▲84

参 考

設備投資のうち、業平橋押上地区開発プロジェクト投資額

11年度実績 約588億円 12年度見込 約64億円

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

3 セグメント別営業利益見込

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計画)	(見込)	(前年対比)	(計画対比)
運 輸	234 (2.9%)	249 (3.1%)	267 (3.3%)	33 (0.4P)	18 (0.2P)
レジャー	▲6 (▲0.5%)	32 (2.1%)	89 (6.1%)	95 (6.6P)	57 (4.0P)
不 動 産	59 (1.4%)	58 (1.4%)	65 (1.5%)	6 (0.1P)	7 (0.1P)
流 通	13 (1.3%)	18 (1.8%)	20 (2.0%)	7 (0.7P)	2 (0.2P)
そ の 他	26 (1.7%)	27 (1.7%)	30 (1.9%)	4 (0.2P)	3 (0.2P)

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

(下段カッコ:営業利益ROA)

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

《運輸事業》

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計 画)	(見 込)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	2,047	2,082	2,096	49	14
鉄道	1,541	1,578	1,585	44	7
その他	506	504	511	5	7
営業費用	1,813	1,833	1,829	16	▲4
鉄道	1,333	1,357	1,346	13	注 ▲11
その他	480	476	483	3	7
営業利益	234	249	267	33	18
鉄道	208	221	239	31	18
その他	26	28	28	2	0

主な増減要因

東武鉄道 鉄道業の乗車人員・旅客収入 (単位:百万人、億円、%)

	A 11年度 実績	B 12年度 計画	C 12年度 見込	B-A		C-B		C-A		
				12計画-11実績 差額	%	12見込-12計画 差額	%	12見込-11実績 差額	%	
乗車人員	定期外	296	306	308	10	3.3	2	0.7	12	4.0
	定期	560	560	566	0	0.1	6	1.0	6	1.1
	計	856	866	874	10	1.2	8	0.9	18	2.1
旅客収入	定期外	731	769	769	38	5.3	0	▲0.1	38	5.2
	定期	636	638	642	2	0.3	4	0.7	6	0.9
	計	1,367	1,407	1,411	40	2.9	4	0.3	44	3.2

注 東武鉄道 鉄道業 動力費 ▲8
人件費 ▲1

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

《レジャー事業》

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計 画)	(見 込)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	601	745	733	132	▲12
ホテル	143	165	167	24	2
その他	458	580	566	108	▲14
営業費用	607	713	644	37	▲69
ホテル	144	160	161	17	1
その他	463	553	483	20	▲70
営業利益	▲6	32	89	95	57
ホテル	▲1	5	6	7	1
その他	▲5	27	83	88	56

主な増減要因		
その他のうち、スカイツリー業		
	11年度実績	12年度見込
営業収益	2	182
営業費用	19	109
営業損益	▲17	73

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

《不動産事業》

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減	
		(計 画)	(見 込)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	524	554	563	39	9
賃 貸	333	449	455	122	6
分 譲	191	105	108	▲83	3
営業費用	465	496	498	33	2
賃 貸	281	388	379	98	▲9
分 譲	184	108	119	▲65	11
営業利益	59	58	65	6	7
賃 貸	52	61	76	24	15
分 譲	7	▲3	▲11	▲18	▲8

主な増減要因				
分譲販売戸数 単位:戸				
	販売戸数		持分換算後販売戸数	
	戸建住宅	マンション	戸建住宅	マンション
12年度見込	6	522	6	247
11年度実績	10	842	10	432
増 減	▲4	▲320	▲4	▲185
賃貸業のうち、スカイツリータウン業				
	11年度実績	12年度見込		
営業収益	3	116		
営業費用	13	108		
営業損益	▲10	8		

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

《流通事業》

(単位:億円)

	11年度 (実績)	12年度		増 減		主な増減要因
		(計 画)	(見 込)	(前年対比)	(計画対比)	
営業収益	2,020	2,120	2,139	119	19	注1 池袋店 +60 船橋店 ▲1 宇都宮店 +7 大田原店 +3 注2 池袋店 ▲1 船橋店 ▲14 宇都宮店 ▲2
百貨店	1,817	1,903	1,886	注1 69	注2 ▲17	
その他	203	217	253	50	36	
営業費用	2,007	2,102	2,119	112	17	
百貨店	1,815	1,894	1,879	64	▲15	
その他	192	208	240	48	32	
営業利益	13	18	20	7	2	
百貨店	2	9	7	5	▲2	
その他	11	9	13	2	4	

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

《その他事業》

(単位:億円)

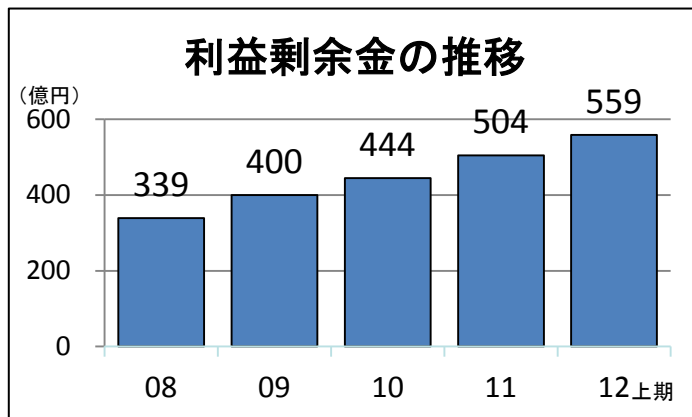
	11年度 (実績)	12年度		増 減		主な増減要因
		(計 画)	(見 込)	(前年対比)	(計画対比)	
営業収益	744	763	851	注1 107	注2 88	注1 東武ビルマネジメント +58 東武緑地 +25
営業費用	718	736	821	103	85	注2 東武ビルマネジメント +43 東武緑地 +16
営業利益	26	27	30	4	3	

Ⅲ. 2012年度 通期見通し

4 鉄道単体

(単位:億円)

	11年度 第2四半期 (実績)	12年度第2四半期		増減		11年度 (実績)	12年度		増減	
		(計画)	(実績)	(前年対比)	(計画対比)		(計画)	(見込)	(前年対比)	(計画対比)
営業収益	1,069	1,088	1,114	45	26	2,124	2,178	2,200	76	22
営業費用	946	955	950	4	▲5	1,861	1,900	1,897	36	▲3
営業利益	123	133	164	41	31	263	278	303	40	25
経常利益	100	97	133	33	36	198	212	243	45	31
当期利益	60	56	82	22	26	114	133	162	48	29



東京スカイツリータウン開業記念配当の実施

(期末配当については193期定時株主総会に付議予定)

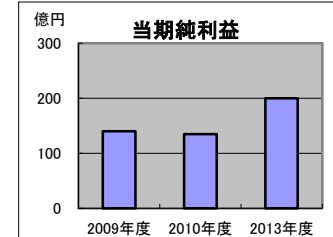
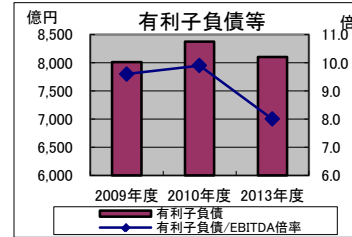
基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (12年7月31日公表)	2円50銭	2円50銭	5円00銭
今回公表 (12年10月31日公表)	3円00銭 (普通配当2円50銭) (記念配当 50銭)	3円00銭 (普通配当2円50銭) (記念配当 50銭)	6円00銭 (普通配当5円00銭) (記念配当1円00銭)
前期実績 (12年3月期)	2円50銭	2円50銭	5円00銭

(参考) 中期経営計画の進捗状況

当期純利益
200億円

有利子負債残高
8,100億円

有利子負債/
EBITDA倍率
8倍程度



	10年度 実績	11年度 実績	12年度 見込	12年度 中期経営 計画	差引	13年度 中期経営 計画
営業収益 (億円)	5,571	5,434	5,805	5,808	▲3	5,828
営業利益 (億円)	308	326	470	400	70	447
経常利益 (億円)	258	278	410	297	113	338
当期純利益 (億円)	131	160	250	177	73	200
減価償却費 (億円)	536	514	538	571	▲33	544
EBITDA (億円)	844	840	1,008	971	37	991
有利子負債 (億円)	8,509	8,479	8,250	8,407	▲157	8,100
有利子負債/ EBITDA倍率 (倍)	10.1	10.1	8.2	8.7	▲0.5	8.2

東武グループ中期経営計画2010～2013

◆ 業平橋押上開発プロジェクトの推進

- ・魅力ある街づくりによる広域集客の実現
- ・東京スカイツリーを活用したブランドビジネスの展開
- ・東武グループ全体のビジネス機会創出

◆ 沿線拠点戦略の展開

- ・東京東部エリアのポテンシャル向上とにぎわいの広域的波及
- ・沿線主要駅の消費拠点強化
- ・観光拠点の活性化(日光・鬼怒川ほか)

◆ 事業の効率性向上

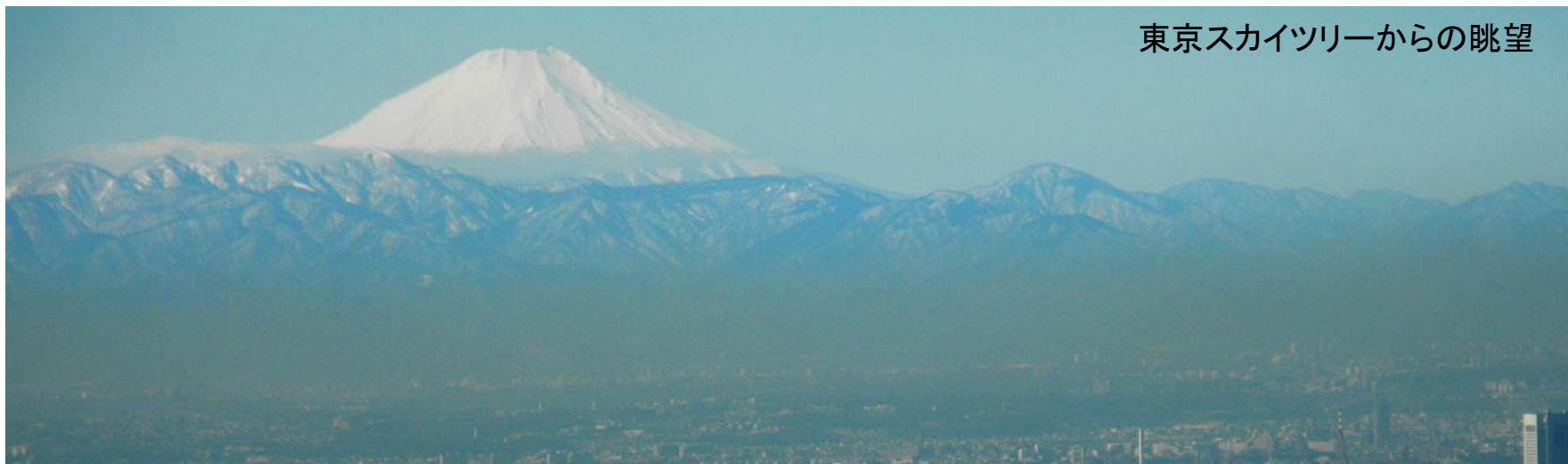
- ・経営環境の変化に対応した効率的な事業展開



当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。



東京スカイツリーからの眺望